

# リウマチ便り

西の京病院 vol.7  
2020年3月16日発行  
文責：森

## 「装具療法と手術療法について」

### 装具とは

機能や身体に障害のある人の身体的に機能を補う目的で作られるコルセットやサポーター等をいいます。また機能障害の悪化を防ぐ役割もあります。装具は医師や義肢装具士と相談しながらその人の体にあわせて作ります。医師の処方があれば公的医療保険の対象になります。

### スプリントとは

作業療法士が作成する簡易的な装具のことをいいます。

### 自助具とは

日常生活における動作を助けるために用いる道具の総称をいいます。

## 関節リウマチにおける装具療法の目的は

- ① 関節の支持性の向上
- ② 炎症の軽減
- ③ 変形の防止と矯正
- ④ 疼痛の軽減



ではどんな装具があるのでしょうか？

肩・肘・手関節：支柱付きサポーター、保温用サポーター、エルボーバンドによる固定

手指：CMバンド、指輪型装具



図) 装具の種類

## 手指装具療法の注意点

- 1) 装具が軽いこと
- 2) 装着しやすい（患者1人で着脱可能）
- 3) 外観が悪くない
- 4) 女性患者が多いため、水仕事にも使用可能であること

## さまざまな自助具

- 長柄つきブラシ…腕を上げにくくても髪をとかすことができる
- オープナー…手指に力が入らなくても、ペットボトルなどのフタを開けることができる
- ピンセットタイプの箸…ピンセットのようにつながっている箸
- リーチャー…手が届かないところにあるものをつかむ。様々なタイプがある

## 手術療法について

### 手術のタイミングについてのポイント

- 歩行や日常生活が困難になったとき
- 関節の破壊がまだあまり進んでいないとき
- 本人に強い意欲や理解があるとき
- 合併症や感染症がない

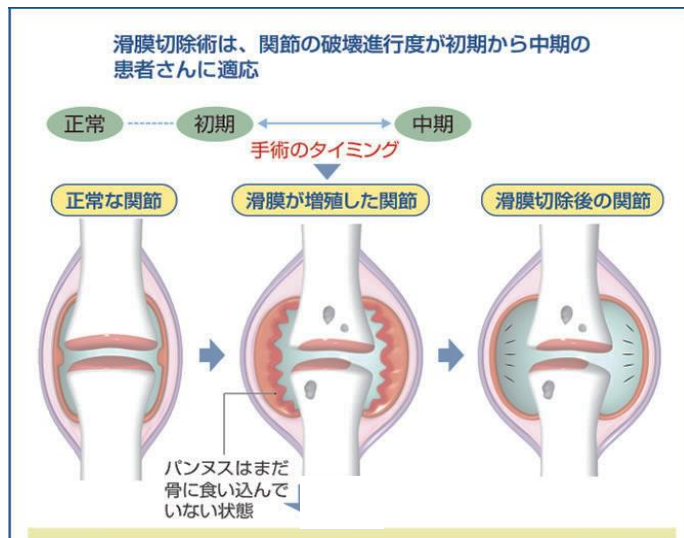
### 関節リウマチの手術の目的は

- 痛みの除去
- 動きの回復
- 十分な支えの確保



### 手術の種類

- 滑膜切除：炎症を起こして増殖している滑膜の除去を目的としていて、ほかの治療法に比べて術後の感染症の少なさや、術後の痛みや動きなどの関節の働きが大きく改善できることが特長です。



- 関節形成術と固定術：関節のダメージが少ない場合には変形した関節の形を整えて、機能の回復を行います。関節固定術は関節の破壊の程度が激しく、強い痛みを伴うことで日常生活に支障をきたしている場合に行われます。



### 《 関節形成術 》

関節リウマチで手首の腫れて痛みがとれないとき、または指を伸ばす腱（伸筋腱）が手関節のところで自然に切れて、指が伸ばせなくなったときの手術です。



### 《 関節固定術 》

骨破壊が著しくて関節が不安定な場合には手関節の固定術を行います。

- 人工関節置換術：人工関節を用いた治療はこれ以外に代替手段がなく、確実に治療が可能な場合に行われる治療法で、非常に体への負担が大きい手術です。しかし、治療後は膝の痛みなどのトラブルが解消される上、関節が動くようになります。



指の変形に対しては機能面のほかに美容目的で手術を検討することがあります。Z字型変形や手の指の付け根の関節に変形がみられる場合は、シリコン製の人工関節であるインプラントを挿入します。

次回は足の話にすすみます